

山口県立大学附属高校の設置について



令和5年9月21日
公立大学法人山口県立大学

1. 附属高校対象校の決定

- 令和5年3月の附属高校の設置方針の公表後、外部有識者等で構成する検討協議会を設置。
- 本年9月14日開催の第5回協議会において、**「県立周防大島高校」**を附属高校の**対象校**とし**令和8年4月の開校を目指す**べきとの協議会案を決定。
- 同年9月20日開催の本学理事会において、必要な手続きを今後進めることを決定。

【**県立周防大島高校を附属化対象校として決定した理由**】

- ① **現在の教育活動・内容が、本学の全ての学科と教育的つながり**があり、本学が目指す高大7年間の一貫した教育理念による人材育成において大きな成果が期待。
- ② **地域課題の解決等に向けた様々な取組は、本学が行おうとしている「広い視野を持って課題解決に挑戦することの意義を理解させること」において有用**であり、**これまでの実績を活かした教育を展開できる**ことから、本学が目指す人材育成において大きな成果が期待。
- ③ 高等教育に接する機会が少なく**他県への若者流出が多い県東部地域において**、県央部に目を向けてもらうきっかけとなり、**県外流出の防止が期待**。

【今後のスケジュール】

- 令和5年10月以降 県教育委員会会議において検討（その後教育委員会から県立大学へ回答）
- 令和6年度以降 県議会の議決を経て国（総務大臣、文部科学大臣）へ定款変更の認可申請

2. 附属高校の設置の趣旨

本学が目指すもの、附属高校に期待するもの

【本学が目指すもの】

- 4つの教育理念（人間性の尊重、生活者の視点の重視、地域社会との共生、国際化への対応）のもと、人々が生き生きと暮らす社会の形成に資する人材を育成。
- 「地域貢献型大学」として、若者の県内定着や地方創生の実現に取り組み、地域とともに未来を切り拓いていく大学を目指す。

【附属高校に期待するもの】

- 山口県の課題等を把握している山口県立大学の強みを活かし、高大7年間（3年＋4年）の一貫した教育理念のもと、未来の山口県を担い活躍する人材を育成。
- 山口県の課題等に加え大学教育にも直接触れながら、郷土への愛着を深め、地域・社会が求める分野横断的な広い視野を持って課題解決に挑戦することの意義を理解。

期待される効果

大学入学後における附属高校での経験に基づいたリーダー的役割の発揮、附属高校以外から入学した学生への挑戦する意識の浸透

👉 **本学が目指す「地域とともに未来を切り拓いていく大学」としての人材育成に寄与**

3. これまでの検討状況等

附属高校の設置方法・時期等を検討するため、外部有識者等で構成する「山口県立大学高大連携の推進強化に関する検討協議会」を令和5年4月に設置し検討。

第1回協議会(5月30日)

【設置方法・時期等についてフリートーキング】

- 附属高校の設置方針に賛同。
- 設置方法は、新設ではなく 既存の高校の設置者変更とする方向で今後検討。
- 対象は県内公立私立高校等73校（通信制は除く）とし、私立高校関係者からは今後意見聴取。
- 開校はできるだけ早い時期。

※ 本学と連携協定を結んでいる高校や自治体にある高校、または本学の教育課程と円滑に接続できる専門学科設置校

第2回協議会(6月16日)

【本学が提示した公立私立高校約30校※から県立高校9校に絞り込み】

- 私立高校関係者からの意見（私立高校の附属化は現実に乏しいが、個別に相談があれば対応してほしい）を踏まえ、私立高校は対象から除外。
- 県立高校のうち、すでに公表されている再編統合対象校や本学との接続が困難な工業科設置校等を対象から除外。

第3回協議会(7月25日)

【県立高校5校に絞り込み】

- 8つの観点により検討し、県立高校5校に絞り込み。

①県立大学教育課程との円滑な接続	②県立大学との連携実績	③県立大学との近接性	④大学等への進学状況
⑤県立大学への入学実績	⑥高校生の通学環境	⑦高校への志願・入学状況	⑧地域課題への取組状況
- 私立高校からの附属化の申出があったことを報告 → 必要な資料等の提出を求め次回検討。

第4回協議会(8月29日)

【県立高校3校に絞り込み】

- 高校の教育活動と本学の教育とのマッチングの視点により検討し、県立高校3校に絞り込み。
- 附属化の申出があった私立高校は、その後申出を撤回された旨を報告。

第5回協議会(9月14日)

【対象校1校を選定】

- 第4回協議会後の候補校の校長からのヒアリングを踏まえ、高校の教育活動の内容を更に精査の上、引き続き本学の教育とのマッチングの視点により検討し、対象校1校を選定。

	候補校の教育活動のうち、教育的関連が見込まれる本学の学科	地域課題の解決に向けた取組
周防大島高校	5学科全て (👉 6ページ参照)	<ul style="list-style-type: none">・ 地元の中学校との連携による発表会・ 高校を核とした産官学等の連携による持続可能な地域づくりに向けた活動を推進・ 全国のコンテスト等での受賞・ 国の有識者会議での取組発表
A高校	特定の1学科	<ul style="list-style-type: none">・ 校内における発表会
B高校	特定の1学科	<ul style="list-style-type: none">・ 校内における発表会・ 地元の協議会及び生徒会における熟議

- 開校時期は、令和8年4月を目指すべきであることを決定。

周防大島高校

			本学の学科との関連				
	普通科	地域創生科	国際文化学科	文化創造学科	社会福祉学科	看護学科	栄養学科
ア 地域創生科福祉コースにおける教育活動		○			○		
イ 特色ある教育活動・内容							
・ イングリッシュセミナー	○	○	○				
・ 海外姉妹校やペリースクール等とのオンライン交流	○	○	○				
・ ハワイ語学研修旅行及び発表会	○	○	○				
・ 町内施設を利用した郷土学習	○			○			
・ アロハシャツの製作及びファッションショーの開催	○	○		○			
・ 福祉施設での介護実習		○			○		
・ 看護学校と連携した取組	○	○				○	
・ 地元の塩を使った商品開発		○					○

【参考】山口県立大学高大連携の推進強化に関する検討協議会の概要

1. 設置趣旨

令和4年3月に山口県とともに策定した「山口県立大学将来構想」に基づき、県立の大学として担うべき人材育成機能の強化を図るため、今後の高大連携の方策について協議する。

2. 設置時期 令和5年4月28日

3. 組織 委員数：10名（会長：松野 浩嗣 国立大学法人山口大学理事・副学長）

氏名	所属・役職	備考
浅川 正司	山口県総合企画部次長	
浅原 司	公益財団法人山口県ひとづくり財団理事長	
井本 浩二	山口経済同友会副代表幹事	
大塚 俊司	山口県総務部次長	
木村 香織	山口県教育庁副教育長	
丹 佳子	公立大学法人山口県立大学入試副本部長	
原田 英明	山口県教育庁理事	
松野 浩嗣	国立大学法人山口大学理事・副学長	会長
矢儀 一仁	株式会社山口フィナンシャルグループ常務執行役員 地域共創事業本部長	
吉村 耕一	公立大学法人山口県立大学副学長	

4. 周防大島高校の特徴

◆生徒の全国募集（県内公立高校で唯一）

☞ 寮を設置しており、課題解決の意識が高い生徒を全県・全国から受け入れることが可能

【周防大島高校入学者の出身地域 (R3~R5)】

県内		県外
周防大島町	周防大島町以外	-
32%	54%	14%

※県内19市町のうち、14市町から生徒を受入

◆福祉教育

福祉コース（県内公立高校で唯一）

☞ 本学社会福祉学部との接続による7年間の教育により、本県の福祉を支える人材の育成に貢献（本県の高齢化率（R4）35.2% ⇒全国3位）

◆地域貢献

地域創生科（県内公立高校で唯一）

- ・地域の課題解決に向けて取り組む探究活動（地場の商品開発等）を実施
- ☞ 本学における地域等の課題解決型学習（PBL）との円滑な接続

◆包括連携協定 (R3.4 周防大島町・周防大島高校・県立大学)

- ・アロハ・プロジェクト（本学がアロハシャツのデザインを作成）など